

# I 一般会計事業報告

(第28年度)

平成23年4月1日から  
平成24年3月31日まで

世界各地では、地球温暖化が主な原因とされる気象異変や災害が多発し、温暖化物質である二酸化炭素の吸収源として、森林への関心が世界的に高まっています。

また、本年は国連が定めた「国際森林年」に当たり、我が国でも森林・林業の再生などに対する国民の関心が一層高まりました。

森林に対する国民のニーズは、国土の保全、水源のかん養、木材の生産、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、環境教育や心身の健康づくりの場としての利用など多様であり、こうしたニーズに的確に答え得る森林づくりや緑豊かな生活環境整備が求められています。

当基金においては、「長野県ふるさとの森林づくり条例」の具体的な指針である「森林づくり指針」に基づき、行政・NPO・地域住民との様々な形での協働を通じ、多くの県民参加のもと、地域の実情やニーズにあった森林や身近なみどりづくりへの理解を深める事業の展開を図ってまいりました。

また、当基金は、昨年4月1日に「公益財団法人長野県緑の基金」へ移行しました。

## 1 情報誌等による広報、普及宣伝

森林・林業及び環境緑化に対する県民の更なる理解を深めるため、次の事業を実施した。

### (1) 情報誌の発行等

基金業務、森林・林業及び環境緑化等について、県民の理解を深め協力を得るため、緑化シーズンに合わせたグリーンキャンペーン等の信濃毎日新聞紙面広告(3回)、機関誌「緑の基金」の発行(2,000部)を行った。

### (2) 緑の情報サービスの推進(ホームページによる情報発信)

県民参加による森林づくり、緑豊かな環境づくりを促進するため、森林・林業に係る各種行事、巨樹・古木を題材に刊行した絵本のPR、緑の募金の使途報告、基金の事業・決算など、ホームページを用いて情報発信した。

### (3) 巨樹・古木をテーマにした絵本作り

飯山市神戸の乳房いちょうを題材にした「まんげつのやくそく」(4冊目)を発刊(2,000冊印刷)した。

特に今回は、巨樹・古木が伝えてくれるメッセージが子どもたちに確実に届くことを期して、県内全ての小学校、特別支援校等に無償配布をした。

#### (4) 緑の相談窓口

庭木など身近にある樹木の衰弱や病虫害等についての相談に乗り、県民に地域の緑の保全への関心を高めてもらえるよう、相談業務を日本樹木医会県支部、県造園建設業協会に委託して実施した。

- ・ 相談件数 11件

## 2 県民の集い等の開催

### (1) ふるさとの森づくり県民の集い

#### ア ふるさとの森づくり県民の集い（第62回長野県植樹祭）の共催

6月11日に塩尻市高ボッチ高原において、長野県、中部森林管理局、塩尻市等と共催し、「始めよう 命つながる 森づくり」をテーマに一般県民1,400人の参加のもとに第62回長野県植樹祭を開催した。

#### イ 地区緑化推進団体による森林の感謝祭などの開催

国土緑化推進機構の「緑と水の森林ファンド事業」を活用して、県下10地区において地区の実情に即し、森林の感謝祭、植・育樹など体験型の行事等を実施した。

### (2) 森林教室の開催

森林・林業に関する知識を普及啓発するため、県植樹祭に併せ、長野県森林インストラクター会の協力を得て「春の森林教室」を開催した。参加者を公募したところ、東信、南信、中信、北信各地区より130名の参加があり、5台のバスを運行した。参加者には、好評のうちに自然観察会、山の手入れ方法・森の状況説明等の体験を通じ、森林・林業への理解を深めていただくことができた。

## 3 講演会の開催等

### (1) 緑に親しむ集い

樹木観察や木や木の実を使った工作など様々なふれあい体験を通じ、森林や森林の恵みに親しむともに関心を深めることができるよう、主に親子向けの森林教室を年間22回、長野県林業総合センター学習展示館と共催で実施し、295組623名の参加があった。

### (2) 森林フォーラム

森林を活かし森林に生かされる豊かな暮らしの実現に向けて、森林経営に携わる者はどのように考え、準備し、対応していくべきか、講演とパネルディスカッションを通じてこれからの森林経営を考える「森林フォーラム」を長野県、林業関係団体等と共催で実施した。

- ・ 平成24年2月17日(金) 佐久市「勤労者福祉センター」 参加者160名

### (3) 野鳥愛護思想の啓発

児童・生徒の野鳥を愛し緑を育む心を養うため、野鳥観察、巣箱製作・架設など野鳥愛護の実践活動を行う小・中学校5校に対して、信州の緑と野鳥を守る会を通して助成した。

## 4 森林づくり等実践参加の促進

### (1) 林業関係等コンクールの開催

#### ア ふるさとの森林づくり賞及び林業関係ポスター等コンクールの開催

地域の森林づくりなど広く長野県の森林づくりの活動及び取組みにおいて貢献された者の表彰、並びに、ポスターや野鳥巣箱の制作を通じて、小・中学校、高等学校の児童・生徒の緑化思想及び野生鳥類の保護思想の高揚を図るための作品コンクールを長野県、林業関係団体とともに開催した。

- ・ ふるさとの森林づくり賞及び林業関係ポスター等コンクール(1月13日表彰)  
長野県ふるさとの森林づくり賞 長野県緑の基金理事長賞 2団体  
林業関係ポスター等コンクール 長野県緑の基金理事長賞 23名

#### イ 木工工作コンクールの開催

小・中・盲・ろう・養護学校の児童生徒を対象に、身近な木材を生かして夢を描き、自由な発想で創作することにより、子供たちの豊かな成長、木に触れ、ものを作る喜びを知ってもらうために、木工工作コンクールを長野県木材青壮年団体連合会と共催で実施した。

- ・ 木工工作コンクール 長野県緑の基金理事長賞 1名(11月23日表彰)

### (2) 教職員の指導者研修会等の開催

#### ア 森林環境教育指導者研修会

子どもたちが自然に親しみつつ森林の重要性などについて体験を通じて学ぶことができるよう、教育指導者である教職員(本年度は北信地域で20人)を対象に、長野県の森林の現状、樹木検索法、木工作等森林環境教育に関する研修会を10月25日に上水内郡小川村内で実施した。

#### イ 森林ボランティア育成研修会

森林の管理意識の向上と安全な森林作業が実施できる体制を構築するため、森林所有者をはじめ森林ボランティアに従事する方等を対象に、長野県林業士等の人材を活用して「林業経営講座」を県下10地区で長野県と共催で開催した。

- ・ 平成23年10月～24年2月(期間：4日間) 受講者延べ 438名

### (3) 学校林の整備

#### みどりの少年団等森林活動支援事業

児童・生徒が行う森林活動を普及推進するため、林業改良指導員がコーディネータとなり、みどりの少年団等がNPOや地域の指導者等と連携して学校林整備などを行う7校に助成した。

- ・ 大田市立大町北小学校
- ・ 長野市立豊野西小学校
- ・ 長野市立大岡小学校
- ・ 長野市立鬼無里中学校
- ・ 小川村立小川小学校
- ・ 長野県立長野西高等学校中条校
- ・ 長野県更級農業高等学校

## 5 都市緑化等の環境整備

### (1) 公園等公共施設の緑化

(公社)ゴルフ緑化促進会の緑化協力金を受けて、協力ゴルフ場所在地を中心とした公共施設の緑化を実施した。

区 分	地 区	事業主体	実 施 場 所 ・ 樹 種
第 67・68回	佐 久	軽井沢町	軽井沢町長倉 雲場池 ドウダンツツジ(148本)

### (2) 小中学校敷地内の緑化

国土緑化推進機構の助成を受け、学校環境の緑化を通じて青少年への森林環境教育を推進することを目的に、小学校敷地内の環境緑化整備(児童用玄関前の緑化等)を実施した。

- ・ 助成事業名 学校環境緑化モデル事業(「ローソン緑の募金」寄付金活用事業)
- ・ 実施校 諏訪市立中洲小学校

## 6 その他

### (1) 国土緑化運動・育樹運動標語の募集

県内の小学生より応募のあった作品の中から10点を推薦したが、残念ながら本県からの入選はなかった。

なお、中央審査の結果、次の特選2点が平成24年用標語に選ばれた。

- ・ 国土緑化運動標語 「ひろげよう 大地うるおす 植樹の輪」 (小5 福島県)
- ・ 育樹運動標語 「育てよう 豊かな心と 緑の芽」 (中2 茨城県)

## (2) 森の名手・名人の選定

国土緑化推進機構が選定する平成23年度「森の名手・名人」に長野県からは3名が選ばれ、県内の名手・名人は39名となった。

氏名	年齢	市町村	部門	内容
北川 聡	77	木祖村	森の伝承・文化	お六櫛製造・指導
木下 吉也	83	上松町	加工	箆製造・卸業
古田今朝芳	63	塩尻市	森づくり	間伐材搬出・利用

## (3) 新公益法人への移行

平成20年12月、公益法人制度改革が行なわれ新公益法人制度が施行されたことに伴い、平成22年度に新たな公益法人の認定を得るべく事務局の体制を充実させて取組んだ結果、平成23年4月1日、公益財団法人長野県緑の基金に移行した。

## 7 基本財産の運用益

世界的な金融危機で輸出産業の生産が停滞、個人消費や雇用情勢の急速な悪化、更にはEUの財政問題などで、円高、ドル・ユーロ安、超低金利が続いており、依然として世界経済や景気の先行きは不透明な状況にある。

このような中、基本財産の運用益について、当初予算では基本財産の受取利息収入を5,673千円と見積りをしたが、決算額は5,022千円となった。

## 8 出捐金の内訳

平成23年度末	5億8,866万7,282円
(前年度よりの増加額	14万1,876円)
＜内訳＞	
・長野県	150,000,000円(25.5%)
・市町村	123,000,000円(20.9%)
・民間	315,667,282円(53.6%)